

一般質問 市政を問う



12月11日から13日の3日間、14人の議員が登場し、市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をたしました。

各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

※一般質問の詳細等が載った会議録は、次の定例会までに第1庁舎の行政情報コーナーに備え付けますので、ごらんください。



菅原 隆文
(よねしろ会)

イオンと中心商店街 の共存は可能か

質問 農振除外申出書が提出されたイオンの出店問題。前豊澤市政では明確にノー。齊藤市長は共存できないかとの趣旨の回答の繰り返し。重点施策である中心市街地活性化対策に矛盾しないか、イオンと中心商店街は共存できるのか。

答弁 中心商店街、中心市街地の活性化については、まちづくりの重要な課題として、郊外型大型店等の進出の有無にかかわらず取り組んでいかなければならない。商店街は中心市街地の中核的な機能を果たしており、地域の生活拠点としての役割を高め、不足業種の補完を行い、独自性を出した店舗構成等による集客への取り組みを行うとともに、個店では特色ある顧客サービスの提供やターゲットを意識した商品構成、年代に合わせた商品力の強化等により売り上げをふやす努力を行うことにより、大型店とのすみ分けが可能ではないか

と考えている。

二ツ井の温泉付コミュ ニティー施設計画

質問 少子高齢化が急激に進行している二ツ井地区では、地域のコミュニティの推進や高齢者の健康増進を進めながら中心地の活性化を図るべきとして出された、商工会の「中心商店街の温泉付コミュニティ施設計画」について、市長の考えは。

答弁 中心市街地は、古くから商業の集積が高く、人々の生活や娯楽・交流の場となり、独自の文化や伝統をはぐくむなど、地域を代表する場所であり、その振興を考えることは、市全体の発展を図る上からも重要な課題である。しかし近年、商業を取り巻く環境の変化や人口の減少、高齢化などを背景に、中心市街地の衰退や空洞化が進んでおり、二ツ井地域においても深刻な問題であると受けとめている。中心市街地に核となる集客力のあるコミュニティ施設等を設置することは、にぎわい創出や商店街振興を図る上で、有効な手段の一つと考え、早急に検討したい。

菅原議員のその他の質問事項

- 本庁と地域局の業務分担は適正か
- 二ツ井水道整備計画の推進課題は
- 今冬の各地区の除排雪計画は